

**第5回（仮称）都の北学園
校名・校歌・校章部会 議事要録**

● **日時・場所・参加者**

- 1 日 時：令和3年8月27日（金）午後6時30分～午後8時00分
- 2 場 所：神谷中学校 体育館
- 3 参加者：校名・校歌・校章部会 14名

● **議題**

- 1 議事要録の公開について
令和2年10月開催の「第3回校名等部会」まで遡り公開することとした。
- 2 校章の依頼先について
過去の校章作成者の中から、3校長の一任で選出し、選出結果については、後日書面により決を採ることに決定した。
- 3 愛唱歌の取り扱いについて
当部会で愛唱歌の検討は行わないことを確認した。
- 4 校歌の依頼先について
次回の部会で再度検討することとした。
- 5 アンケート結果について
校章・校歌のアンケート結果は、作成依頼先へ提供することを確認した。

● **説明及び質疑応答**

○ **事務局**

議事録について、これまで北区ホームページ上で学校経営検討委員会のみ公開としておりましたが、学校経営検討委員会の開催が頻繁に行えないこと、部会で決定権を持った検討を行っていることなどを踏まえ、部会に決定権を認めた昨年10月開催の第3回校名等部会まで遡って、個人が特定されない形での議事の概要を公開してもよろしいか、委員の皆様にご後お伺いしたいと思います。

○部会長

事務局から説明がありましたように、第3回校名等部会まで遡り、議事要録をホームページ上で公開することについて何かご意見等ありますでしょうか。

○各委員

異議なし

○事務局

この後、皆様には、校章のコンセプトについて、部会としての意見や要望を出していただきたいと思えます。また、部会の意見、要望は児童・生徒を対象としたアンケート結果と併せて、依頼先へ提供する予定ですのでご承知おきください。

続きまして、校章の依頼先の検討について、事務局が想定している依頼先決定までの流れについて改めてご説明いたします。

校章の依頼先について、現時点で、委員の皆様からの推薦はありませんが、本日の部会においても推薦がない場合には、事務局で調べた過去の校章作成者の中などから、3校長先生の一任で選出いただこうと考えております。一任により選出された方でよいかについては、後日部会を書面で開催し、決を採らせていただく予定でございます。

また、この後候補者の推薦が出た場合には、事務局で調べた過去の校章作成者と併せて、後日3校長先生に3名程度を選出していただくことを考えています。その上で3校長先生により選出された2～3名の候補者から、依頼する順番というものを委員の皆様にご決定していただこうと考えております。こちらを決定する部会も書面での開催を想定しております。

○部会長

校章のデザインについて、こういうものを入れたほうがいいのか、何かご意見はありますでしょうか。

○各委員

(要望なし)

○部会長

依頼先について、今のところご推薦を頂いている方がいないと事務局からお聞きしておりますが、この場で推薦はありますでしょうか。

特にないということであれば、3校長で選出し、後日何かしらの形で皆さん

に決を採らせていただこうと思いますが、そのような方向で進めさせていただいてよろしいでしょうか。

○各委員
(異議なし)

○事務局

愛唱歌の取り扱いについて学校と事務局の見解をお伝えいたします。

学校を新設するタイミングでは、第1に児童生徒が新校の校歌に愛着を持てるように努めることが大事だと考えます。そのため、学校で児童生徒が愛唱歌を歌う機会が創設当時は余り多くありません。また、愛唱歌を作成すること以外にも、3校の校歌をメモリアルホールに飾ったり、記念碑に刻むなど、3校の校歌を残していく方法はほかにもございます。このことを踏まえ部会では、愛唱歌の検討を行わないことといたしました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

○部会長

では、まず事務局のほうからの愛唱歌についての取り扱いについては、そのような形でということになりますので、愛唱歌については検討を行わず、新しくこれから選定される校歌に愛着を持てるように、都の北学園の児童生徒についてはそこら辺を考えながら歌わせていきたいと思えます。

続きまして、校歌のアンケート結果について何かありますでしょうか。

○各委員
(要望なし)

○部会長

続きまして、校歌の依頼先について、少しお時間を取らせていただいて、ご意見等をお話しただければありがたいと思えますけれども、何かありますでしょうか。

○委員

作曲家のプロフィールが配られておりますけれども、神谷中学校が校歌を作ったときに、ちょうどそのときの音楽を担当していた先生が作曲をしたわけです。それがいまだに我々の中では非常に印象的な校歌を作ったということもそうですし、それにまつわる先生の授業だとかいろいろなことが関わり合いとせずと残っております。そういう意味からすると、今回の作曲についても、著

名な作曲家を選ぶということも1つの考えですけれども、できれば地域に密着したり、学校に密着したり、そういう意味でつながりの深い先生に作曲をしてもらったらどうかという感じがずっと思いとしてありました。以前にもそういうお話をさせていただいたと思っております。

そういう意味でA先生は、神谷小学校の音楽の先生です。私はできれば神谷中学校、それから稲田小学校、神谷小学校、この中の音楽の先生方にも参加してもらいたいという感じを持っておりました。非常にユニークな音楽会を開いたり、展覧会とか発表会で先生が作曲して、それから卒業式のときにお子さんが作った詞に作曲したり、いろいろな意味で作曲をされたりするということもありました。それから、父兄からいろいろなお話を伺ったのですけれども、大変熱心と申しますか、非常に評判のいい先生だという話も伺いました。

たまたま私が小学校に電話をかけたときに出たのがこの先生でして、お話ししたときに「すごくうれしい」と言うのです。自分としてはすごくうれしい話だと。神谷小学校に長く赴任されていますし、そういう方に作曲してもらおうということは、神谷小学校のいきさつなど含めていいのではないかと感じておりました。急遽教育委員会のほうに推薦をさせていただきました。

○部会長

ありがとうございました。神谷中学校の校歌を作曲された先生ですけれども、先生は退職後にいろいろな作曲だとか全国の合唱祭の作曲だとかいろいろな経歴をお持ちです。教員としても九州のほうで教員をやった後に、東京都内で中学校に退職まで3校ぐらいという形です。A先生がどうこうというのではなく、先生は学校教育での音楽の先生というレベルではない形での活躍を教員の時代にしていっていったのかというふうに経歴を伺うと思います。

今回は、作曲家を選んで、作曲家に作詞家を選んでもらうというところなので、皆さんがそういうお考えであれば、現役の学校の先生を対象にしながら、校歌を作っていくという形になってもいいのかと思うのですけれども、推薦された作曲のプロフィール等を見ますと、B先生やC先生などは、それなりにいろいろなところでご活躍をされているということで、10年、20年と歌い継ぐ歌ではなく、50年、100年歌い継ぐ中で、この校歌は誰が作ったのといったときに、それなりの経歴的なものがある程度担保されることも私自身は必要なかと思っています。

都の北学園という学園をどのような学園にしたいのか、どのような児童生徒にしていくためにこの歌を受け継いでいってほしいという構想を入れながら、作詞も作曲もしていかなければいけないということでは、私自身はA先生に非常に負担があるのかと考えています。

委員の皆さんから忌憚のないご意見を頂いて、この3名の中について可能であれば順位付けをしながら、今日決められれば決めたいと。それが難しいのであれば、お考えいただきながらまた次回になるのかと思います。

時間があれば歌詞も作曲も子どもや児童生徒みんなで作り上げるような部分ができればいいですけれども、なかなかそれだけの時間的な部分もありませんし、そういう部分では、ある程度経歴だとかこれまでの実績だとかに偏るわけではありませんけれども、そういう考え方のほうがある面スムーズに行きそうだと思っていますので、A先生を含めながらご意見を頂ければありがたいと思います。

○委員

私も新しい学校ができるに当たり、地域の神谷を知っている作曲家の人がいれば、その人をお願いをした方がいいのではないかという判断でずっとおりました。

3名の方のお名前が上がっているのですけれども、現実にBさんとCさんは正直何も知らないのです、どうしたらいいかと。A先生は神谷小学校で卒業式、入学式、また地域の青少年の行事にもコーラスでよく指揮を執られているので知っているのですけれども、3名の中でどなたかと言われても、今すぐ頭の中でこの方というのは結論が出ていません。とりあえず言えることは、専門家ではなくて、北区をよく知っているか、できれば地域、神谷、東十条をよく知っている方をお願いしていただきたいというのが私の感想です。

今部会長からお話があったとおり、将来50年、100年を見据えていく校歌であるということであれば、それなりの先生をお願いするというのも1つの判断とは思っております。今すぐこの方というのは出ないので、もう少し考えさせていただきますと思います。

○部会長

まず、B先生はそこに書いてあるように教育委員です。ということは、都の北学園、北区初めての施設一体型小中一貫校の学校に対する、こんな学校にしてほしいとか、こんな学校を目指していくのだということがいろいろな情報を得ながら、理解している。私たち3校の校長が目指している都の北学園の思いだとかも受け入れながら、作曲をするに当たって作詞家もそういう方に依頼できると。

Cさんという方は、B先生と同じ合唱をやってお知り合いです。地域の人から私は推薦されました。非常に立派にいろいろなこと、また北区にお住まいの方です、北区の施設一体型小中一貫校、都の北学園への思いや構想等持っているようなことを受け止めながらやっていらっしゃるのかなど。そこに書いてある

ことだけではなく、皆さんとお話ししながら、またお話を聞きたいと思います。

○委員

Aさんがどういう方か分からないし、分からないのでコメントのしようがなく困っています。私個人としては、地元出身の芸能界、エレファントカシマシさん、自分でも憧れのスター、決してふざけて言っているわけではないのですが、そういう話題性のある人を掘り出していったらどうかと前から思っていました。そういう方の出番がなさそうな、難しい、何ともお話のしようがないのが今の状況です。

○委員

私もこの3名の方のプロフィールを見る限りでは、経験というかいろいろなことをやってきているのだという形が見えるのですが、正直3名とも全然分かりません。Bさんがプロフィールからだけで見ると、経験豊かという感じはするのですが、この方というのはすぐに出ないというのが現状です。

○委員

私も今いろいろお話を伺っている中で、言うことも分かるのです。長い50年、100年続くものはある程度著名な方で、誰しもが知っているという有名な方。また一方では、この地域をよく知っている地元の学校の音楽の先生。これも、自分の学校の先生、こういったものを作ったのだよと言ったら、やはりこれは生徒とすれば非常に誇らしく思っていたものであろうという気はします。そうはいっても、今お話しされた中では、私も将来ずっと受け継いでいくためにどちらがいいと言われると、今答えが難しいと思っております。

○委員

今日配られた資料で推薦された作曲家のプロフィールというのを見まして、北区に関係している方がいらっしゃるのだということで見させていただきました。やはり北区の学校ですので、北区に関係のある方にやっていただくほうが私はいいかと思いますので、今の時点ではB先生、もしくはC先生、このお2人がいいのではないかと私は思います。

○委員

今日の3名の作曲家の候補を拝見しても、経歴は分かるのですが、どのような曲のイメージか、聞いたことがないので、正直何とも申し上げようがないと。説明を見ると、B先生、C先生が間違いないのかと。北区としても関わりが

見えてきます。しかし、今時点申し上げることはできません。

○委員

何とも決められないというのは皆さんと同じ意見です。作曲をお願いするという世界は私も全然分からないので。今この場にある材料だけだと、皆さんは何とも評価しづらいというのが今の状態なのかと。何か決め手が足りていないのではないかと思います。皆さん同じように北区に何らかの関わりのある方ですし、経験のある方とそうではない方というのは失礼かもしれないですけども、ただ、経験があるからいいというわけでもないでしょうし、決め方を変えないと決まっていけないのではないかという気はしました。

○委員

地元の方々でというようなご意見で、素敵な話だと思ったのですが、校歌ができて、いろいろな評価があると思うのです。すばらしいというのもあれば、逆にそうではないというのもあったりとかして、今現役の先生が携わると、もちろん名譽的なことでもあると思うのですが、いろいろな意味で距離が近い方なのかという感じはしないでもないのです。ですので、誰がいいというようなのではないのですけれども、拝見していてBさんなのかという感じはいたしました。

50年、100年後に残すために、こういう方、なおかつ北区のことに関わっていらっしゃるような方、いろいろなバランスを考えて、大変申し訳ございません、お名前を出しますけれども、Bさんはいかがかと思いました。

○委員

A先生は小学校で音楽会などを見に行ったのですが、歌とかだけでなく、そこに語りみたいのもあったのですが、そういうのも考えて才能があるというか、素人からしたらいろいろな才能をお持ちの方なのではないかと思っております。しかし、やはり実績がある方といいますと、B先生のほうがよろしいのかと思います。

○部会長

今出ているA先生も含めながら、3名の方は、もしかしたらその方に作ってもらおうと思ったときに、こちらの意見を参考にしながら少し変えたり、作り直したり、そういうことができるということが、決め方の中の皆さんの前回のご意見としては方向性なのかと。

せつかく校名・校歌・校章部会、先ほど言われましたように、校章についても

幾つかのプランを提示していただいて、その中でこの部会で決定し、学校経営検討委員会で最終的には決定をするという形になっていくかと思います。校歌についても、ではこれでということではなくて、もしかしたら旋律だとかそういうものについては、もう少しこういうような、まして9年間児童生徒が歌う歌になりますので、それなりに難し過ぎてもどうなのか、易し過ぎてもどうなのかという部分をきちんと把握しながら、また私たちが聴かせていただいて、専門家ではないので、具体的にこういうところを直してほしいということが出せるかどうか、「そういうことも可能です、そういうこともやります、北区、都の北学園のためには努力します。」という方をお願いしていくという形での選考になるのかと私自身は思っています。

どなたに頼んでも、これまでのように一人に頼んだらその人が全部決めて、これをお願いしますと。10年、20年歌い続ければみんないい歌になるし、愛着が持てる歌になると思います。しかし、それ以上に3校、また地域の歴史だとかを踏まえながら、そういう作曲をしていただけるということのある面条件に、今後決めていくような形にしたいとは思っています。

決め方としては、私を含め、3校長である程度話し合いながら、今のような条件を提示させていただいて、提示したものに対して、皆さんのご意見を頂きながら再度アレンジをすることも可能ですということであれば、そういう方を優先的に第1候補にさせていただきながら、順位を決められたらというふうに思っていますけれども、そういう形でどうでしょうか。

○委員

3名の方は立派な先生だと思うのですがけれども、その中では私としては、作曲家が作詞家を選ぶというお話だったと思うのですがけれども、そういう意味でいくと、やはりB先生、いろいろな形で幅広く運動されていますので、このB先生だったらある程度作詞家を選んでいただいて、それなりの候補ができるのではないかという気がしています。この3名の中でと言われたら、消極的な方法ですが、B先生を推薦という形で私は決めさせていただこうかと思っています。

○部会長

作曲家が作詞家を指名するという形になります。B先生なり、C先生なりに作っていただく形に行かせていただいて、A先生や神谷小学校の音楽の先生、神中の音楽の先生に聞いてもらって、もう少しこういう旋律がいい、こういうところがあるともう少し子どもたちが歌いやすいなどアイデアを入れながら作っていくという形で、B先生、C先生という形になり得るのかと思います。私が勝手に

言っているようなことがB先生やC先生がそんなことはできない、私が作ったものを一々意見を頂いて、アレンジすることは難しいですと言われると、その辺のところはまた振り出しに戻るのかと思いますけれども、どうでしょうか。

○委員

私も一般的にこうやって見ている意味では、この中でB先生ならと、常識的と言うとおかしいですけれども、そういう感じを持っておりました。

しかし、やはりできれば地域から部会の中に一人ぐらい手を挙げてやるぐらいの中で、検討の俎上に上げていくということも大事なことはないかという思いが私はあるのです。実際に聞いてみないと、その先生が作った曲というのはどうなのかということはほとんど分からないわけです。教育委員会の立場からいけば、本来だったら応募された何人かの先生の審査をやる、B先生なら大丈夫だというふうには思っているのです。ただ、やはり地域から一人ぐらいは手を挙げてもいいのではないかという単純に思いがありまして、そういう中で私は推薦させていただいたということなのです。

今までのキャリアだとか実績の中で取らざるを得ないのかというのはありませんけれども、本当は曲を聴いてみて、我々がこの曲はいいと。例えば3人の先生を出されたときに一番いいのは、3人の曲を聞いてみて、この曲はいいという感じがあれば一番いいと私は思っていたのです。やはり部会からすれば、地域からそういう声が上がったということは非常に大事なことはないかと。

今部会長がお話しされたように作った曲については、3校の音楽の先生に聞いてもらって、どうなのだろうという評価を頂くということもある意味ではないのではないかと。私は、それはすごくいいことだと思います。

○部会長

私たち校長も教育委員のB先生に面識があるわけではないし、話をしたこともありません。しかし、施設一体型小中一貫校を北区でつくと教育委員会で決めたというときには、教育委員会としての夢や思いがあると思うのです。現場の3校の校長もこんな学校にしたいというものをうまくぶつけて、その思いにかなうような曲を作るには、ある程度実績だとかがあって、北区のことがよく分かっている、北区の子どもたちのこと、生徒のこと、地域のこと、保護者のことだとかもいろいろなことに十分認識を持っているのであれば、そういう方にこんな曲を作りたいから、そういう思いを入れた歌詞を書いていただく作詞家も見付けていただけるだろうし、そういう思いがあるわけです。

本当は時間があって、校章も校歌も本来であれば児童生徒の中から意見が出てきて、それを一つの形にして作ることが理想なのだと思いますけれども、その

辺のところは一朝一夕でできるようなものはない。校章についても難しいでしょうし、校歌については余計難しい。

であれば、ある程度北区のことが分かっている方、北区でいろいろな活動をされているような方に。また、他の推薦者があれば非常にいいのですが、今のところ3名しかいないので、その上では教育委員をなさっているB先生やC先生などが北区でいろいろな活動をされていますので、一回聴かせていただいて、その中で気になるようなことがあったら、少し変えられるということをお約束させていただいて、順位的に決められればありがたいと思っているわけです。

そういうことで、今日順位付けをして、この人にまず当たりましょう、その次にはこの人という形で決めてもいいし、決めなくてもいいと思っています。これ以降、地域の方でこの方というのがあればいいわけですが、時間的な部分も含めながらなかなかそれは難しいのかと。

校歌が少なくとも令和4年度には出来上がらなくてはいけないのです。令和5年に歌わせなくてはいけないのです。赤羽岩淵中学校をつくる時も前の年には出来上がっていました。開校前までに、少なくとも半年や1年弱ぐらいは歌うのです。そうしなければ開校式や入学式に歌えません。そういうことでは、コロナ禍で会議も飛び飛びになっていますので、時間がないというところも踏まえると、順位付けができて、第1候補としてお願いする方向という形である程度お決めいただくと本当はありがたいと思いますけれども、どうでしょうか。

○委員

C先生、A先生、生年月日が書いていないのですが、分かりますでしょうか。

○事務局

ホームページ上に記載がないところはなかなかお答えできないのですが、C先生に関してはB先生に直接お話しする機会がございまして、そこでもC先生のお名前をお聞きしたところもありますけれども、お話によると30代というお話です。

A先生は直接ご本人にお話しする機会があったのですが、ご年齢まではお伺いしていなかったのですが、神谷小学校の前に足立区の学校に赴任されていて、今神谷小学校は2校目ということなので、恐らく30代前後くらいなのかと思っております。

○部会長

私もCさんについて地域の方から名刺を頂いて、何々小学校で校歌を作っ

いる、何か機会があったらお名前を出してくださいと言われてただけなので、そのときにB先生とも一緒にやっておりますということを聞かせていただいたということです。

A先生が神谷小学校に2014年にお勤めということは、そろそろ転勤の時期なのです。基本的には6年で異動になりますので、A先生は本当にいい人材だと思いますけれども、異動のルールからするとそろそろとなってしまうのかということがあります。今年度中に校歌が出来上がるわけではなさそうな部分もあるので、そういう部分ではA先生にお作りいただくということは少し厳しい部分があるのかと思いました。

○委員

異動の時期だという話になってくると、デザインなどをやる先生たちは、そのときはその学校に在籍しているけれども、ほかに移ったりして作られているのです。ましてやB先生は別に学校にいるわけではないわけで、そういうことから考えると、そここのところの話は異動するとかしないという話になってこない話なので、私はそういうことでどうのというのではなくて、やはり自然の流れの中で帰結するものは帰結していくのだろうと思っています。

私はA先生がどうしてもとかという話ではなくて、実際に皆さんがキャリアでこの先生でしょうという、例えばB先生ならB先生でしょうという話になれば、自然の話の流れになってくるわけで、部会長の気持ちは分かるのですけれども、部会長としては方向性を無理やりされないほうがいいのではないかと私は思いました。

○部会長

私がA先生の立場とすると、非常に大変だと思う部分があったので。

○委員

大変な話も全部先生に話をしていると思うので、実際問題としては大変だろうとかいろいろなことがあります。ただ問題はそういうことではなくて、実際にいい曲か、その視点だけの話だと思っています。

いろいろと情報があると思うので、そういうことは加味しなければいけないことですが、もっとフラットな形でそういう議論ができればいいと思っていますということなのです。

○委員

こういうお話をしてもなかなか結論が出ないと思います。作曲家の先生とこ

ここにいる方は新しくできる学校を見たこともないし、また神谷という地域も知らない、稲田の地域も知らない。皆さんが責任を持って、こういう声があります、こういう人の名前が出ていますというのを次に集まるときに出していただいて、その中で検討したらいいのではないかと思うのです。

そうでないと、私たちがここに集まっている意味がないのではないか、皆さんで議論する意味がないのではないかと思います。

次回皆さんが責任を持ってお名前を上げてくるということがいいのではないかと私は提案します。

○部会長

どうでしょうか。今3人の候補者が出ております。この候補者以外の方を地域の方からもある程度推薦いただいて、そこで上がってくればいいですけども、上がってこなかった場合にはその3名の中から優先順位を皆さんで決めさせていただいて、方向性をつくっていくという形、新たな提案が出ましたけれども、どうでしょうか。

○副部会長

部会としてまとめなければいけないところ、皆さんに共通するところは、都の北学園に向けて児童生徒が長い間歌い続けるいい曲を作れる、あとは、地域に密着した、根差した、都の北のことをよく知っている人に頼みたいということかと思えます。

誰でも知っているメジャーな方は、例えばそういう人を選んだ場合、確かに都の北学園の作曲者、作詞者が共に有名な人だと、わっと拍手を打って、そこは話題になるかもしれませんが、実際は中身が大事で、本当に児童生徒が歌い継いでいく中で愛着を持てる曲、それで地域とか学校の建学の精神だとかいろいろなことも踏まえて作ってくださる方を選びたいということで同じなのではないかと思えます。

そういったことから考えますと、可能ならば今の共通の部分を今日は確認したということをしっかり記録にも残し、そして今後進めていきたいと考えています。

北区のゆかりのある人ということで選んでいけば、新しい学校、北区で初めて都の北学園ができるということを書いて、我々委員の思いを伝え、そして我々校長とか児童生徒の思いも伝えていきながら一緒に作らせていただいて、途中経過などできたときにもし2つ、3つ候補があるならば、それを委員の皆さんに聴いていただいて、これはどのような感じでしょう、もうちょっとこうできるといいます。そんなことも踏まえて柔軟に検討していただければ。我々の思いを、委員

お一方お一方の熱心な思いを十分まとめて、そこも含みおいて作ってくださる方をお願いしたいということでいかがでしょうか。そんなことができればいいと思います。

○部会長

予定が変わると思うのですけれども、今の共通した思いを一つにまとめていくには、12月あたりは校歌のことを決めていかなければいけないのかと思いますので、その辺どうでしょうか。

本来であればきょうの段階である程度方向性ができたら、進め方としては非常にいいのかとは思っていますけれども、なかなか難しいようですので、次回の部会の日程等を決めさせていただく中で、時間をもう少し頂ければありがたいと思います。

○委員

今のお話ですと、きょうは別に決定するというのではなく、経験があつてメジャーな先生に頼むよりは、地元をよく知っている先生でお願いしたい。

今日は、我々委員の意見を聞いていただいて、次回のときにはどういう形で進めていくか分からないのですけれども、もう一度確認という形でお話ししていただければと思います。

○部会長

そのような方向性でやっていくという形でよろしいでしょうか。そういった方向で進めさせていただきますので、よろしくお願いします。

作曲家が作詞家を連れてきてという形で、今、そういうルールで進めています。が、反対の方がいいのではないかというご意見がありましたので、その辺はどうしましょうか。

○事務局

事務局から説明をさせていただきますけれども、私どもが聞いている範囲では、まず作曲家を選ぶ、その作曲家が作詞家を選ぶということが王道というか一般的なのだそうです。選ばれた作詞家が詞を作る。詞を作るときに作曲家も一定程度一緒に作るという流れが通常だそうで、詞ができてからそれに曲を付けるという流れになるというのが一般的なのだそうです。

なので、選ばれた作曲家が作詞家を選ぶ、先に詞を作るという流れで、今回私どもが提案させていただいているという経緯がございます。

○委員

B先生とA先生の両方で曲を作って比べるというのは無理なのでしょうか。

○部会長

今出ている3名の先生たちに曲を作ってもらおうと。本当はそういう方がいいような気がするけれども、そういうことが本当にできるのかどうかというところも、なかなか難しいのではないかと思います。

○委員

素人目には作詞家が先ではないのと私も思ったのですけれども、作曲家を選びする、作詞家と一緒に歌詞を作る、そういう流れですよね。北区のことをよく分かっていて、みんなの意見を反映してくれるような作詞家を選べる人、そういう作曲家を選んでいく。そのとおりのかだと思いますので、次回に持ち越すのでしょうかけれども、そういうことを踏まえてお作りいただいたらありがたいと思いました。

○委員

歌謡曲とかああいう話をいろいろ聞いてみると、作詞を先に作って、後で曲を作る、私どものイメージとしては、やはり詞ができると、何となく詞のイメージというのは分かりやすいと。曲というのは後から付いてくるかという感じをイメージとして持っているのです。

作曲家が作詞家を選ぶということは、少し違うのかという感じを私としては持っていたのです。作詞ができて、その後曲をどうやって付けようかという作曲家の話も聞いていたりしますので、その辺りはどうなのかと思うのです。

○副部会長

3校長、事務局の皆さんともう一度整理して、次回提案させていただいて、ある程度方向性をお伝えするかもしれませんが、なるべく幾つかの候補のうちどれがいいですかと皆さんが選びやすい、意見をお伝えいただけるような形を準備して次回用意するので、それまでお時間を頂ければありがたいということでしょうか。

○事務局

本日のまとめをさせていただきます。まず校章について本日の決定事項を確認させていただきます。

校章のコンセプトについて、児童生徒のアンケート結果を踏まえた上で委員の皆様にご意見はありますかということで、今回の部会で一度お伺いしておりますけれども、それについてご意見自体は今回確認されなかったと思いますが、それについては特に大丈夫でしょうか。

○各委員

はい。

○事務局

校章のコンセプトについて、皆様からご意見はなかったですけれども、児童生徒のアンケート結果がございいますので、こちらは依頼先へ提供するという事で決定しております。

もう1つ、校章について依頼先の選出について、事前の推薦もなく、今回の部会でも推薦がなかったため、3校長先生の一任とさせていただきます。予定では、後日皆様に書面で決を採らせていただくことになっておりましたが。次回部会を開催するのであれば、そこで決を採らせていただいてもいいのかと思いますけれども、改めて3校長先生に選出は一任させていただいて、後日何かしらの形で皆様に決を採らせていただきたいと思います。

次に校歌について、校歌も同様、児童生徒のアンケート結果を依頼先へ提供させていただきます。また、校歌のコンセプトについては、委員の方々からご意見は特になかったということで認識しておりますので、よろしく願いいたします。

最後、校歌の依頼先についてです。作詞家か作曲家、どちらを先に選定するのかということと、候補者に関する材料をできる限り集めさせていただいて、次回の部会で改めて検討させていただければと思っております。そのため、依頼先については、次回持ち越しというところでよろしく願いしたいと思います。

次回のスケジュールについては、年内に一度部会を開催させていただければというところで今の段階ではお示しさせていただければと思っております。